

SS2 自転車道の目標像と整備戦略*

Target of Bicycle Road Space and Strategy*

金 利昭**

By Toshiaki KIN**

1. はじめに

自転車利用空間のあるべき姿に関しては、今だ不明瞭である。すなわち自歩道でよいのか自転車道が良いのか自転車レーンが良いのかも明確ではない。

自転車空間研究研究小委員会（委員長 徳島大学教授 山中英生）では、多数の研究メンバーが参画し、多くの成果をあげつつある。その一端を、2009年3月6日（金）に開催したワンディセミナーNo.53「自転車から中速グリーンモードへ - 利用空間整備の方向とその評価 - 」で公表してきた。

加えて今ここで、我々の現段階の主張・提案・見通しを出しておきたいと考えた。必ずしも細かい分析に基づくものではなく、我々が関わってきた全体を踏まえて、ざっくりと我々の主張・見通しを議論したい。

本SSは、近年得られた知見を基に、我が国の自転車利用空間の将来像を可能な限り絞込み、そのための現実的な整備戦略に関してフロアーとの質疑応答・意見交換を含めたパネルディスカッション形式で集中討議を行う。

2. 論点として

- ・自転車道か自転車レーンか
- ・自転車レーンと自歩道の併用の妥当性
- ・防護柵の有無と瑕疵
- ・利用者の通行帯指向性
- ・望ましいルールと周知方法
- ・自動車速度と抑制（ゾーン30など）
- ・将来的な電動四輪車と原付との共存問題
- ・交差点処理 / 駐車規制
- ・歩行者・バリアフリーとの関係
- ・自転車ネットワークとバリアフリーネットワークの連携
- ・自転車空間とまちづくりとの関係
- ・路側帯活用型自転車通行帯
- ・自転車が走りたくなるデザイン

*キーワード：自転車、歩行者、地区交通

**正員、工博、茨城大学工学部都市システム工学科

（茨城県日立市中成沢町4 - 12 - 1、

TEL0294-38-5171、FAX0294-38-5268）

3. 話題提供者

司会 金利昭

- （1）吉田長裕（大阪市立大学）
- （2）元田良孝（岩手県立大学）
- （3）屋井鉄雄（東工大）
- （4）久保田尚（埼玉大学）
- （5）山中英生（徳島大学）
- （6）金 利昭（茨城大学）



写真 - 1 自転車モデル地区～渋谷区幡ヶ谷～
自転車レーン + 自歩道

・15m 道路 片側1車線

歩道部	3.0m	自転車レーン	1.5m
車道部	3.0m		

規制速度 40km/h 自転車レーン + 自歩道

【自転車空間研究小委員会の研究成果報告】

土木学会土木計画学研究委員会
ワンディセミナー No.53
自転車から中速グリーンモードへ
- 利用空間整備の方向とその評価 -

開催日 3月6日(金) 午前10:00 - 17:00
開催場所 野口英世会館 160-0015
東京都新宿区大京町2番地 JR千駄ヶ谷駅
主催 土木学会計画学研究委員会,
徳島大学(中速グリーンモード研究会)
後援 国土交通省国土技術政策研究所
参加費(資料代)土木学会会員2000円 非会員3000円

はじめに セミナー趣旨と構成 10:00-
徳島大学 山中英生

我が国における自転車空間整備の展開とその評価
10:05-

1) 自転車走行環境整備の現状と課題
国土技術政策総合研究所道路研究室 大脇鉄也
同 道路空間高度化研究室 松本幸司

- 2) 事例とその評価 10:30-11:50:
1. 岡山市内国道53号線自転車道整備効果の調査
岡山大学 阿部宏史
 2. 世田谷区の取り組み - 走行空間整備と意識啓発
国土館大学 寺内義典
 3. 高松市の取り組み 自転車交通をめぐる適材適所の
アプローチ 香川大学 土井健司
 4. 埼玉県内の取り組み-自転車をめぐる現実と対応
埼玉大学 久保田尚

- 3) 設計法とその評価 13:00-14:15
1. 利用実態の把握可能について
東京海洋大学 兵藤哲朗
 2. 自転車・歩行者交通の錯綜評価
立命館大学 小川圭一
 3. 小交差点デザインとその評価
秋田大学 浜岡秀勝
 4. 自転車の走行性にあった路面デザイン
徳島大学 山中英生
 5. BCCの提案と整備事例の評価
茨城大学 金利昭

自転車から中速グリーンモードへ 14:30-

- 1) 海外の展開と我が国への導入方向 14:30-16:10
 1. 欧米の自転車道事例
岩手県立大学 元田良孝
 2. コペンハーゲン 中速帯の整備とその評価
大阪市立大学 吉田長裕
 3. 欧米における走行空間設計基準とその方針
東京工業大学 鈴木美緒
 4. わが国における自転車共同利用サービスの評価方法
とその課題 東京大学 羽藤英二
- 2) ディスカッション・質疑応答 16:10-16:45
クロージング究の方向と新たな課題 16:45-17:00
東京工業大学 屋井鉄雄



写真-2 コペンハーゲン都心部のCycle Track
・車道 路駐 Cycle Track 並木 歩道
・質感・化粧のレベルが抜群
・段差は3~5cm程度で、交差点でのすりつけがスムーズ



写真-3 コペンハーゲン 郊外部のグリーンウェーブ
・郊外から都心へ数本
・時速20km/hで走行すれば信号に引っかからない